

## シリーズ「きょうだいの思い」 41

### 恋愛

～15分ほどの初対面～



待ち合わせ場所のバス停から5分足らずでローソンに着いた。私は後部座席から身を乗り出して2人の間に顔を出したが、塞いでいた両手を耳から離れた弟は、ダッシュボードを開けたり、運転席のサンバイザーに書かれている注意書きを見たり、身内の私から見れば“お決まりの動作”をしていた。私の想像だが、弟がサンバイザーを見るのは『社名』を確認しているのだと思う。今では社名が書かれているサンバイザーはほぼ無いと思うが、きっと昔はあったのだろう。弟が興味を持ちインプットされるぐらいだから、かなりの昔だと思う。今でも、我が家へ来ると、レンジや洗濯機・エアコン等は、本体に注意書きのシールが貼られている所をわざわざ確認する。『SHARP』よりも『シャープ株式会社』と書いてあることに、弟は納得しているのだろうと思う。話が逸れてしまったがローソンに着いて、彼も一緒に店に入ってもらった。弟は嬉しそうにお菓子を選んでいて、彼は戸惑ったような表情で店の入り口付近に立って、こちらの様子を見ていた。あの時、あまりにも正反対な2人の表情を今でも鮮明に思い出すことができる(笑)

買い物を終えて、弟に事前から説明してた通りに家へ送った。家に着く寸前の、私達きょうだいの会話はこうだ。

「〇〇さんに、何て言うの？ ありがとうって言うんやろう」  
「アリガト！」

車が停まるなりサッサと降り、バタン！とドアを閉めて振り返りもせず家へ帰って行った。家の近くで停車してから「アリガト！」を促すのでは遅いのである(笑)

自閉症をよく理解している方はわかると思うが、自閉症の人の別れ際は本当にアッサリサッパリしていて、愛想の『あ』の字も何もない(笑)。でもクールな訳ではない。私は、自閉症の人達はいたってドライなのだと思っている。

彼と弟が“初対面”したこの日から月日が流れて

次は、当時の市立養護学校の体育館(郡家本町)へ迎えに行き、自宅まで送ることを彼に提案した。弟だけでなく、多くの障害者が集う行事が、彼と私の休日である週末に重なることはそう多くはないので、いい機会だと思った。彼は快諾してくれたが、当日に私は、いかに彼が障がい者について無知だということがわかり、ただただ驚くことになる。

～つづく～

# 前穂通信

まえほつうしん

発行日	2016年3月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600

## 「障がい者が世界を救う！」松原例会報告



2月25日(木)『大阪府中小企業家同友会の三島支部※』の2月例会において、代表の松原が約1時間お話をさせて頂く機会を得ました。『障がい者が世界を救う！』～障がい福祉から見えるところとかける想い～というテーマで、起業の経緯、障がい福祉の現状などを事例を交えて熱く語りました。中小企業経営者の皆様に障がい福祉の環境を知って頂き、少しでも障がいをお持ちの方々への理解を深めて頂けたらと願っております。

※「中小企業の経営を良くしたい」という目的のもと、1957年4月東京で設立され、翌1958年9月に大阪府中小企業家同友会が誕生しました。現在、全国47都道府県約43,000社が加盟。大阪府下には26支部があり、約2,700社(企業)の会員が活躍しています。

## ⚠ 受給者証の更新はお済みですか？

「障がい福祉サービス」「地域生活支援事業」それぞれの受給者証の更新はお済みでしょうか？ 期限切れになってしまいますと、サービスのご利用ができません。更新手続きについてご不明な点は、行政窓口(障がい福祉課)へお問い合わせの程、宜しくお願い致します。また、更新手続きをされた際は、変更内容等をご確認の上、前穂への通知も合わせて、必ずお願い致します。

※写し(コピー)をスタッフにお渡し頂くか、FAX(072-689-8900)をして頂いても結構です。